

# 九建日報

発行所

株式会社 九建日報社  
〒812-0018 福岡市博多区住吉5-9-19  
電話 代表092(431)5361番  
FAX 092(431)7613番  
購読料1ヵ月7,800円

北九州支局  
TEL 093(383)8436  
熊本支局  
TEL 096(273)8708  
大分支局  
TEL 097(594)0518

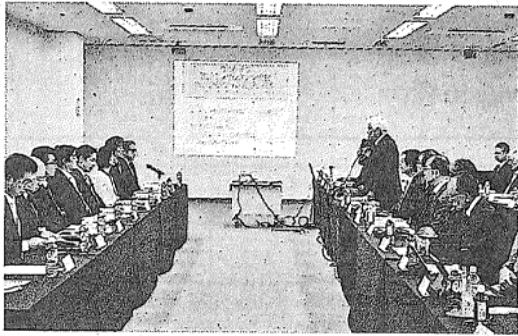
## 熊本県と意見交換会

### CBIMM 7年度から試行へ

#### 表彰制度の拡充求める

建コン協九州

【熊本】（二社）建設コンサルタツツ協会九州支部（田中清支部長）は5日、熊本市中央区のホテル熊本テルサで熊本県との意見交換会を開催し、表彰制度の拡充やDXの推進などについて意見を交わした。BIM・CIM導入の見通しについて、県は令和7年度から土木部発注の業務で試行すると回答した。表彰制度の拡充については、前向きに検討するとしていた。



意見交換会には、協会から田中支部長や東野修幸副支部長、中田慶一郎理事・熊本県部長をほ

じめとする熊本県の会員各社が出席。県からは、土木部の久原美樹子政策審議監、倉光宏一土木技術管理課長らが参加した。

冒頭、田中支部長は「激甚化・頻発化する災害への対応や事前防災、老朽化する道路のメ

きんことを祈念する」とあいさつ。また久原政策審議監は「建設業に求められる役割、まな課題について、双方

割が大きくなっており、生産性の向上が重要な課題となっている。さまざま業務の拡大▽業務表彰制度の充実▽業務成績評定

で連携して取り組んでいきたいら幸いだ」と述べた。意見交換会は冒頭のみ公開で実施し、終了後に内容を説明した。熊本県への個別提案は▽共同企業体（JV）制度の対象業務の拡大▽業務表彰制度の充実▽業務成績評定

結果の今後の活用促進▽DX推進ロードマップの策定・公表▽BIM・CIM導入の見通し―の5項目。JV制度については、地場企業の技術力向上につながるなどから対象業務の拡充を要望した。県は平成27年度からこれまでに9件のJV業務を実施してきたと説明。メリットもある一方、技術力向上には長い期間がかかる、業務が分業化されメリットが生かされていない事例がある、などの課題もあると指摘。受発注者双方で検討を深めていくとした。

業務表彰制度については、管理技術者だけでなく、表彰対象業務で活躍した若手や女性技術者を表彰する制度の創設を求めた。業務成績評定結果の活用促進については、現在は地域振興局ごとに紙媒体のみで公表しているが、県内の平均業務評定点を集計・整理し、ホームページなどで公表するよう要望した。県はいずれも前向きに検討すると回答したほか、これまで表彰対象ではなかった災害業務の表彰も検討するとした。

また協会がDX推進ロードマップの進捗状況について尋ねると、県は熊本県デジタル化推進計画を12月に策定すると返答。BIM・CIM導入の見通しについての質問には、来年度から土木部発注業務で試行すると答えた。加えてオンライン納品を10月から試行して

おり、今年度内に各振興局で1、2件程度実施することを紹介した。その他、担い手の確保・育成について議論。産学官一体となって、学生向けに建設業について情報を発信する必要があるとした。また、若者の興味を引きやすいDX推進の重要性についても意見を交わした。